

プリズミ (PRISME) フォーラム

Pharmaceutical R&D Information Systems Management Executive (PRISME) Forum (prismeforum.org)は、世界のバイオ医薬品業界における事実上の R&D IT リーダーシップグループです。現在、研究開発費が推定される 38 のバイオ医薬品企業から 64 名のメンバーが参加しており、上位 10 社のうち 9 社、上位 30 社のうち 23 社を代表する企業が名を連ねています。会合は、春に欧州、秋に米国で開催される 2 回の対面式会合と、それ以外の仮想会合で構成されています。

ミーティングは 2 部構成になっており、第 1 部(1 日半のビジネスミーティング)では、メンバーとその組織に影響を与える最新の問題や新しいトレンドについて話し合う場が設けられています。特に、"Company Updates" と題されたセッションは、情報量が多く、重要な部分を占めています。各メンバーは、自社の主要な活動や機会についてフォーラムに報告することができ、メンバーはバイオ医薬品の研究開発 IT における現在の重要な問題についての見解を得ることができます。第 2 部(1 日のテクニカルミーティング)は、招待制ですが、メンバー以外の方も参加できます。この会議では、PRISME フォーラムが以前に重要と判断した「ホットピック」を詳細に取り上げ、厳選された分野の専門家による講演が行われます。

PRISME フォーラムミーティングのこの 2 つのパートは、バイオ医薬品業界の R&D IT において、シニアプラクティショナーがネットワークを広げ、新たな友情を築くためのユニークな機会となっています。

目標

プリズミ(PRISME)フォーラムの目的は、以下の活動により、バイオ医薬品業界における R&D IT の共通利益を促進、代表し、その条件を改善することです。

- グローバルバイオ医薬品 R&D IT の効率性、有効性及びインパクトを高めるために、非商業的機密情報を交換するフォーラムをメンバーに提供します。
- バイオ医薬品 R&D IT のベストプラクティスに関する知見をメンバーに提供します。
- R&D アプリケーションに利用できるオープンスタンダードの開発と使用を促進します。
- ライフサイエンス R&D IT 製品およびサービスのサプライヤーとメンバーとの間にオープンでインフォーマルな対話の機会を作ります。
- ライフサイエンス R&D IT における新しい機会についてメンバーに伝えます。

背景

プリズミ(PRISME)フォーラムはミズーリ州で設立された 501 (c) 6 タイプの非営利会社です。今のプリズミ(PRISME)は、以前の PRIME(その起源は、シニア製薬 R&D IT エグゼクティブおよびデジタルイクイップメントコーポレーション)と PRISM(1997 年に発案、1998 年に形成)の合併によって 2011 年に結成されました。PRISM は、R&D IT 管理者とそのシニアマネージャたちのコミュニティでした。国際高エネルギー物理学コミュニティによって確立された HEP-CCC(コンピュータ調整委員会)を含むモデルを念頭に置いて設立されました。HEP-CCC の目的は、非競合コンピュータ・インフラストラクチャ設立をコーディネートするために、競争的ではあっても HEP サイトを奨励することでした。

ガバナンス/運営体制

PRISME フォーラムは、理事会と、選出された会長によって運営されています。現在、会長は UCB の IT アーリーソリューション情報管理責任者のダン・チャップマン博士で、任期は 2018 年 11 月に開始され、2020 年に更新されました。前任の会長は、サノフィの医療 IT グローバルヘッドであるオリビエ・ジエン博士でした。理事会と会長は、組織の他の小委員会によってサポートされています。特に、Technical Meeting Advisory Committee は、Technical Meeting で発表する教員について助言する役割を果たしています。

以下は、最近のテクニカルミーティングで扱ってきた内容です。

半年期	ロケーション	テクニカルミーティングのタイトル
2011 年秋	ケンブリッジ、マサチューセッツ	R&D バーチャリゼーション
2012 年春	アルダレイパーク、英国	患者を中心とした R&D へのアプローチ
2012 年秋	ホワイトステーション、ニュージャージー	コラボレイティブでネットワーク化された R&D を通じてイノベーションを実現
2013 年春	チリーマザレン、フランス	製薬 R&D は、どのようにビッグデータを活用しているのか？
2013 年秋	ボストン、マサチューセッツ	製薬 R&D IT におけるリアルワールドエビデンスの意味
2014 年春	ノースミムス、英国	ビッグデータの価値をビジュアル化
2014 年秋	サウザンドオークス、カリフォルニア	コラボレーション
2015 年春	カイザーアウグスト、スイス	バイオ製薬 R&D の為の IT 飛躍革新
2015 年秋	プレインズボロ、ニュージャージー	バイオ製薬 R&D におけるトランスレーショナルサイエンスの機会
2016 年春	チェコ共和国・プラハ	臨床試験データのマイニングによる疾患理解
2016 年秋	サンディエゴ、Celgene	バイオ医薬品の研究開発におけるインサイト生成の新しい方法
2017 年春	ドイツ・ベルリン	データが研究開発の通貨であるならば、その価値をどのように認識するのか？
2017 年秋	マサチューセッツ州ケンブリッジ	ヘルスケアにおける AI の可能性
2018 年春	フランス・パリ	ヘルスケアにおける人工知能 Part II
2018 年秋	米国イリノイ州ディアフィールド	AI の世界におけるデータレディネス
2019 年春	スイス・バーゼル	バイオファーマ R&D にとっての「デジタル」とは？
2019 年秋	マサチューセッツ州ボストン	テクノロジーが医薬品の研究開発に価値を生み出す場所
2020 年春	オンライン	データとアナリティクスは研究開発をどう変えるか
2020 年秋	オンライン	COVID-19 がもたらす研究開発・医療のデジタル化による変化
2021 年春	オンライン	データサイエンスを支える機械に強いデータ
2021 年秋	オンライン	クラウドの研究
2022 年春	オンライン	コネクテッド・ファーマ・データ・エコシステムの構築

連絡

プリズミ(PRISME)フォーラムのメンバーは、バイオ医薬品業界 R&D においてコンピューターベースのハイクオリティなテクニカルサポートを提供するという共通の課題に対する革新的なアプローチを学ぶ事に常に興味を持っています。このような革新的なアプローチは、新製品および/または新たなサービスに基づいていることもあります。さらに、プリズミ(PRISME)フォーラムは、ライフサイエンス R&D インフォメーションエコシステムの中で行われている IT に焦点を当てた他のタイプの会社間アライアンスの役割を認識し、理解することに興味があります。

プリズミ(PRISME)フォーラムは、バイオ医薬品業界での R&D IT リーダーシップのグループの注目に値するアイデアやトピックを送信していく場所になっています。このようなトピックは通常プリズミ(PRISME)フォーラムのメンバーに提示されるか(例えばトランセレレートバイオファーマ株式会社 - 2013 年秋、革新的医薬品イニシアティブ - 2014 年春と 2015 年春、ビームロボット - 2014 年秋、トランススマート財団とライフサイエンス研究クラウドは、2015 年秋)、またはプリズミ(PRISME)フォーラムのテクニカルミーティングの議題に組み込まれることとなります。

プリズミ(PRISME)フォーラムに関しては、プログラムコーディネーター、ジョン ワイズ(jcmwise@prismeforum.org)にメールでご連絡下さい。